

「恵みと平和があるように」
エフェソの信徒への手紙 1章 1-2節

2023.6.4

●アウトライン

1. 神の御心によって
 - ・「パウロ、パウロ」という人
 - ・ただ神の御心によって、キリストの使徒とされたパウロ
2. イエス・キリストにおいて
 - ・エフェソ書の宛先
 - ・「聖なる者たち」とは
 - ・ただ「イエス・キリストにおける」神の救いの御業によって
3. 恵みと平和があるように
 - ・パウロ特有の挨拶の言葉「恵みと平和があなたがたにあるように」
 - ・エフェソ書の重要なキーワード「恵み」と「平和」
 - ・恵みを届けるためには、先ず、神の恵みを受けること。平和を伝えるためには、先ず、神の平和を知ること。

●聖書箇所

【使徒言行録 19章 28-29節、新約 252ページ】

「これを聞いた人々はひどく腹を立て、『エフェソ人のアルテミスは偉い方』と叫びだした。そして、町中が混乱してしまった。彼らは、パウロの同行者であるマケドニア人ガイオとアリスタルコを捕らえ、一団となって野外劇場になだれ込んだ。」

【使徒言行録 20章 36-38節、新約 255ページ】

「このように話してから、パウロは皆と一緒にひざまずいて祈った。人々は皆激しく泣き、パウロの首を抱いて接吻した。特に、自分の顔をもう二度と見ることはあるまいとパウロが言ったので、非常に悲しんだ。人々はパウロを船まで見送りに行った。」

【エフェソの信徒への手紙 6章 23-24節、新約 360ページ】

「平和と、信仰を伴う愛が、父である神と主イエス・キリストから、兄弟たちにあるように。恵みが、変わらぬ愛をもってわたしたちの主イエス・キリストを愛する、すべての人と共にあるように。」